

令和7年度 第1回富山市交通空白輸送地域公共交通会議 議事録

1. 日時 令和7年8月5日（火）14:00～15:00

2. 場所 富山市役所 議会棟8階 第3委員会室

3. 出席状況

【出席者】

団体名等	職名	氏名	備考
富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科	教授	本田 豊	
富山市自治振興連絡協議会	副会長	山田 憲彰	
富山地方鉄道株式会社自動車部営業課	課長	奥村 大	
富山県交通運輸産業労働組合協議会	議長	金山 剛	代理出席
富山県タクシー協会	専務理事	高田 順一	
全国自動車交通労働組合富山地方連合会	執行委員長	石橋 剛	
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局	首席運輸 企画専門官	景山 隼人	
富山県警察本部交通部交通規制課	課長	六渡 崇	代理出席
富山県交通政策局 地域交通・新幹線政策室 交通戦略企画課	課長	黒崎 勇一	
富山県富山土木センター	次長	鹿熊 文博	
富山市活力都市創造部	部長	深山 隆	

【説明者】

- ・ NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス 理事長 堀田 宏、副理事長 花井 秋男
- ・ 上条コミュニティバス運行協議会 理事長 鹿熊 兼一、事務局長 西中 正治
- ・ 富山市活力都市創造部交通政策課 主幹 笹倉 宏一
- ・ 堀川南地域コミュニティバス運行事業推進協議会 事務局長 熊野 通有

【事務局】

- ・ 富山市活力都市創造部交通政策課 課長 杉木 光晴、主幹 笹倉 宏一、技師 前田 瑠

4. 議事

・ 議決事項

- 議案第1号 水橋・上条地区のAI オンデマンド交通の実証運行について
- 議案第2号 市営山田コミュニティバスについて

・ 報告事項

- 報告第1号 堀川南地域コミュニティバスについて

資料

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 会議資料
- ・ 富山市交通空白輸送地域公共交通会議設置要綱

議案第1号 水橋・上条地区のAI オンデマンド交通の実証運行について

【資料説明】

富山市、NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス、上条コミュニティバス運行協議会

【意見・質問要旨】

(委員)

富山県警察では、高齢者の免許返納を推進しているところであるが、免許返納者に対する運賃の値下げ等の特典を検討する予定はあるか。

(富山市、NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス、上条コミュニティバス運行協議会)

現在のところ、予定はない。運賃を値下げした分の収入を補填するための予算措置を富山県警察で行っていただければ、検討の余地がある。

(委員)

現在と比べて運行日に変更はあるか。

(富山市、NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス、上条コミュニティバス運行協議会)

現在、水橋ふれあいコミュニティバスは月曜日から金曜日（一部土曜日）に運行しており、上条コミュニティバスは月曜日、水曜日、土曜日に運行しているが、この実証運行では、月曜日から金曜日のみの運行となる。

(委員)

モーニング便について、本体制での運行は半年間ということで合っているか。

(富山市、NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス、上条コミュニティバス運行協議会)

その通りである。

(委員)

運賃は、現在と同じか。

AI オンデマンド交通は、タクシーと同様のサービスレベルで運行していると考えているが、今後は運賃の値上げを検討しても良いのではないか。

(富山市、NPO 法人水橋ふれあいコミュニティバス、上条コミュニティバス運行協議会)
同じである。運賃を現在と同じに設定することで、定時定路線から AI オンデマンド運行に変更したことによる利用者数の変化を検証する予定である。
運賃については、実証運行を踏まえ検討していきたい。

【議決】 原案のとおり承認

議案第2号 市営山田コミュニティバスについて

【資料説明】

富山市

【意見・質問要旨】

(委員)

今後、富山地方鉄道株式会社による長沢線の運行が復活する可能性はあるのか。

(委員)

運転手不足が原因でやむを得ず路線の廃止措置としたが、現在のところ何とも言えない状況である。但し、利用が少ない路線であることに変わりはない。

(委員)

山田小学校では、路線バスを利用して校外学習を行っている。(富山空港ほか) また、やまだこども会ではバスの利用方法を学ぶための乗車体験を行っている。今後行うことができるか。また、今後運転手不足解消のために、自動運転等を導入する予定はあるか。

(富山市)

校外学習については、富山市に事前に相談いただければ検討できる。自動運転は、すぐに実装することはできないが、技術の進展やコスト面を含め慎重に検討しなければいけない。

(委員)

平日10便というのは、一日5往復という認識で合っているか。土曜日7便についても同様か。

(富山市)

その通りである。土曜日に関しては、山田中核型地区センター行きが4便、長沢行きが3便の計7便の予定である。

【議決】原案のとおり承認

報告第1号 堀川南地域コミュニティバスについて

【資料説明】堀川南地域コミュニティバス運行事業推進協議会

【意見・質問要旨】

(委員)

資料内の時刻表に、発着時間の誤りがある。

(堀川南地域コミュニティバス運行事業推進協議会)

訂正し、後日事務局から再度送付する。

(以上)